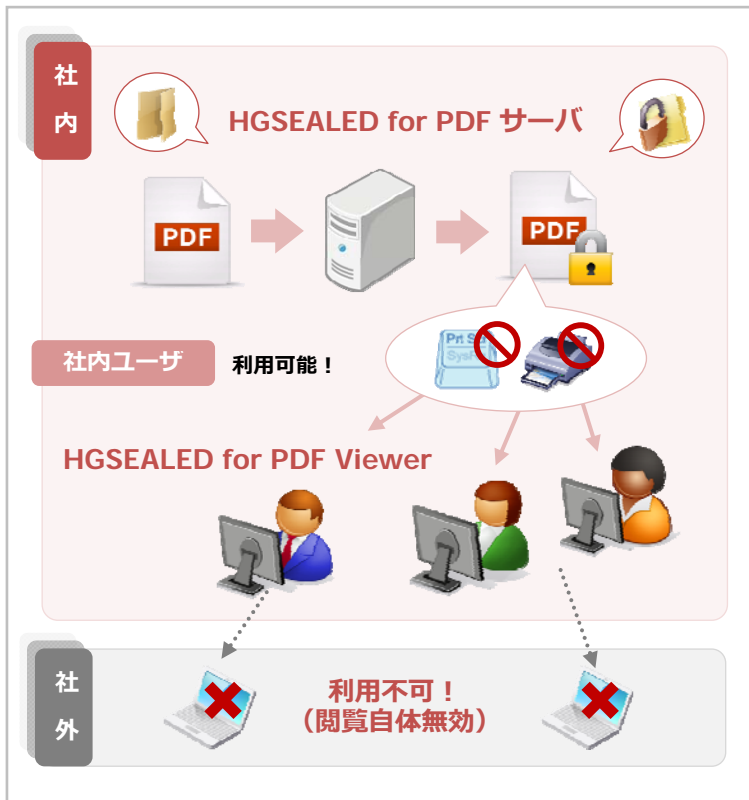


HGSEALED for PDF

PDF ファイル DRM 暗号化ソリューション



■ TECHNICAL DATA 2016/7

どんな業界や業種の会社でも、多くのPDFファイルを日々の業務の中で利用しています。その中には、機密情報や個人情報などを含むことも多く、重要な情報を含むファイルが意図せず社内から社外へ流出して、不正コピーや利用されてしまうなどの危険性があります。

HGSEALED for PDFは、DRM技術によりPDFファイルを暗号化することができます。操作権限を設定することで、印刷禁止や印刷時に透かし文字列を表示できます。さらに、画面キャプチャー禁止や閲覧有効期限などの操作を制限することができ、情報漏えいによる社会的、経済的ダメージから企業を守ります。

■DRM(Digital Right Management)とは？

デジタルコンテンツの著作権を保護するため、その利用やコピーを制御・制限・管理する技術

<サーバ側>

■かんたん導入、かんたん設定

HGSEALED for PDFのインストールはインストールマニュアルで行うことができ、暗号化ファイルを生成するための設定も設定画面のチェックボックスを選択する流れで非常に容易に行うことができます。

■DRM暗号化機能

HGSEALED for PDFはフォルダを監視する機能を搭載しています。監視フォルダへPDFファイルを入れるだけで自動的にDRM暗号化することができます。監視フォルダは設定によりいくつでも作成することができます。

印刷や編集、画面キャプチャーの禁止が可能で、閲覧有効期限の設定も可能です。期限切れの場合、暗号化ファイルを削除することもできます。

■ユーザ管理不要

ユーザ数が多い場合は、人事異動や組織変更のたびにユーザ情報やデータベース上のポリシー変更など、情報システム部門での管理および修正工数が膨大になり、大変であるという声をよく聞きます。HGSEALED for PDFの場合はこのような心配は不要です。サーバで共通の暗号鍵で暗号化するため、ユーザ管理は不要で、膨大なユーザ登録やデータベース管理・メンテナンスなどを考慮する必要がありません。

■ログ収集、復号化

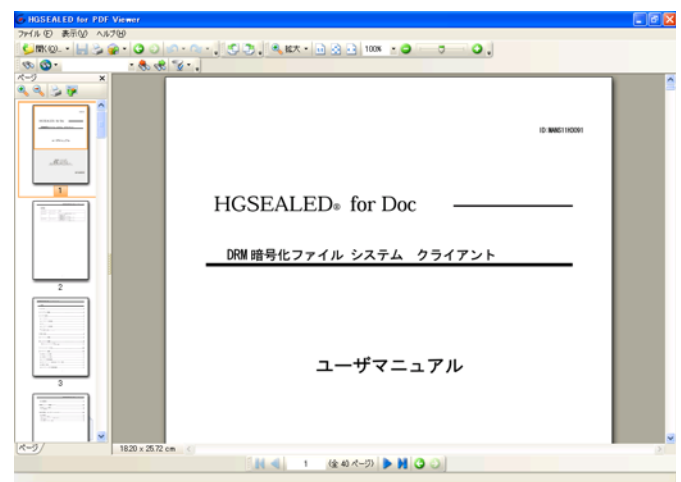
暗号化ファイルの“開く”“印刷”の操作ログを自動的にサーバに記録することができます。管理者ツールにて、クライアント操作ログの検索や参照、削除、CSVファイルへのエクスポートができ、暗号化ファイルの利用状況を把握、管理することができます。管理者ツールには、暗号化ファイルを復号化する機能もあります。どうしても暗号化ファイルを元の状態に戻したい場合、管理者ツールでのみ復号化することができます。

<クライアント側>

■暗号化PDF専用ビューワ

DRM暗号化されたPDFファイルは専用ビューワで閲覧が可能となります。DRM暗号化をしていないPDFファイルは、インストール済みのPDFビューワ(Adobe Readerなど)で操作することができます。操作自体は普通にダブルクリックすると自動的に必要なビューワで表示がされます。

専用ビューワには保存や編集機能はなく、拡大・回転・検索など表示系の機能以外はありません。



■キャプチャーソフトを自動検出

プリントスクリーンや画面キャプチャーを防ぐことができます。未知のキャプチャーソフトでも、画面イメージのコピー処理を自動的に検出することができます。そのためブラックリストを配布、更新しなくとも、キャプチャーソフトの画面キャプチャーを防止することができます。

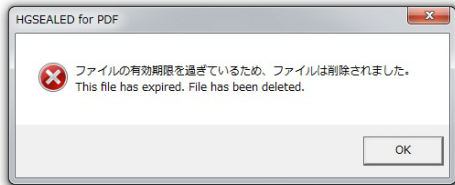
■透かし(ウォーターマーク)

印刷時に任意の透かし文字列やクライアント PC の情報(日付やコンピュータ名など)を指定の位置に印字することができます。



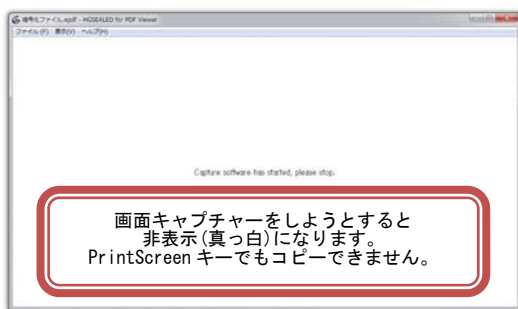
■閲覧有効期限切れ削除

暗号化ファイル作成時に有効期限日付や期限切れ時自動削除を設定でき、有効期限日を過ぎた場合には、ファイルを開く操作時に以下のメッセージが表示されファイルを開くことはできません。



■画面キャプチャーの防止

自動検出機能でさまざまな画面キャプチャーソフトに対応できます。暗号化 PDF 参照時にキャプチャーソフトを検知すると、以下の通りビューワ内の暗号化 PDF は非表示になり保護されます。



- ・ Print Screen キーによる画面キャプチャー禁止
- ・ キャプチャーソフトによる画面キャプチャー禁止

・ Windows, Windows Vista, Windows 7, Windows Server は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における商標です。
 ・ Adobe, Adobe ロゴ, Acrobat ロゴ は、Adobe System Incorporated (アドビシステム社) の商標です。This product is licensed from MarkAny Inc.
 ・ その他の記載の社名、または商品名等は、それぞれ各社の商標、登録商標です。

開発・販売元

株式会社 ハイパーギア

〒162-0846
 東京都新宿区市谷左内町 21 番地 市谷山上ビル 3F
 TEL 03-5225-7531
 FAX 03-5225-6512

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

■インストール

暗号化ファイルを作成するサーバソフトのインストールが必要です。
 暗号化ファイルを利用するクライアント PC にソフトのインストールが必要です。
 ※インストールは管理者権限を持つユーザで実行してください。
 ※サーバソフトとクライアントソフトは同じ PC にはインストールできません。

■動作環境

<サーバ>

CPU	Pentium4 2GHz 以上
RAM	2GB 以上
OS	Microsoft® Windows® Server 2008 Standard, Enterprise SP2 32bit/64bit 日本語版 Microsoft® Windows® Server 2008 R2 Standard, Enterprise SP1 64bit 日本語版 Microsoft® Windows® Server 2012 Standard 64bit 日本語版 Microsoft® Windows® Server 2012 R2 Standard 64bit 日本語版

<クライアント>

CPU	Intel® Celeron® D またはその互換 CPU、2.8GHz 以上
RAM	2GB 以上
OS	Microsoft® Windows 7 Home, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate SP1 32bit/64bit 日本語版 Microsoft® Windows 8.1 (無印), Pro, Enterprise 32bit/64bit 日本語版 Microsoft® Windows 10 Home, Pro, Enterprise 32bit/64bit 日本語版

<アプリケーション>

PDF ファイル(.pdf)
 ※PDF のみ対応 (Word や Excel、PowerPoint には対応していません)
 ※暗号化された PDF ファイルは拡張子 .epdf が標準となります。
 ※暗号化ファイル専用 PDF Viewer 32bit 日本語版はクライアントと同時にインストールされます。

■価格

- ・ HGSEALED for PDF (1 サーバ+25 クライアント)
 価格 585,000 円 (税別)
 ※年間サポート費用: 初年度より製品標準価格の 20%/1 年間
- ・ 追加 50 クライアントライセンス
 価格 125,000 円 (税別)
 ※年間サポート費用: 初年度より製品標準価格の 20%/1 年間

お問い合わせは当社へ